

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

<p>団体名</p>	<p>大阪市学校保健会</p>
<p>団体等の概要 (設立・会員数・目的等)</p>	<p>設立は昭和26年7月です。本市の学校保健の振興を図るとともに、その推進運営に寄与することを目的としています。</p> <p>構成員等は大阪市立小、中、高等学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、校園長、保健主事、養護教員、PTA、その他学校保健関係者となっています。</p>
<p>取り組み内容</p> <p>令和3年度実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各区学校保健協議会における取り組み <ul style="list-style-type: none"> 区内の学校医等をはじめとする学校保健関係者、保護者を対象に、保健大会において講演会等を実施 今後も各区学校保健協議会における保健大会で、各区の健康課題に応じた講演会等を実施 ・ 学校保健タイムス発行(年2回) <ul style="list-style-type: none"> 学校保健の振興を図るとともにその維持運営に寄与することを目的とし、学校保健に関する現状や課題、調査研究など様々な情報を提供

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪市私立保育連盟
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	当連盟は、1956年(昭和31年)に設立され、現在485カ園の認可された保育所(園)・認定こども園・小規模保育事業が加盟しています。【2022年4月1日現在】加盟園は思想・信条の別なく民間保育園の特性を發揮し、次世代を担う子ども達の保育事業に取り組んでいます。また、地域の皆様の要望に応え、子育て支援事業を行っています。市内民間認可保育園(所)の組織として、相互の連携、協調を図りながら、次の事業計画を行い、民間保育園(所)の運営の推進、保育の質的向上を図っております。
取り組み内容 令和3年度 実績	<p>第1回食育研修 ⇒ オンライン研修 2021年6月8日(火) 参加人数 96名 講師:三木絵梨香氏(歯科衛生士) 「摂食機能を理解し、食を楽しむ」 *摂食嚥下学会認定士として赤ちゃんから高齢者までの運動発達を踏まえられて、食機能や発語にともなう口腔の発達を具体的にお話いただきました。乳幼児の食の発達を身体の発達と結び付けて伝えてくださるので現場の保育士にとってもより分かりやすく、調理側や援助する側にとっても役立つお話となりました。</p>  <p>第2回食育研修 ⇒ オンライン研修 2021年9月28日(火) 参加人数 83名 講師:高岡有理氏(大阪はびきの医療センター小児科副部長) 「食物アレルギーのとりくみを考える」 *子どもたちのアレルギー情報の共有のために生活管理指導表(アレルギー疾患用)を活用して、医療機関と保護者、保育士、栄養士、看護師の連携と役割について話いただきました。アレルギー対応の基本原則を確認し、緊急の場合のエビペン対応を再度学ぶ研修になりました。 講師:中村祥子氏(大阪はびきの医療センター管理栄養士) *「食物アレルギー児への栄養士のかかわり」=アレルギーとなる食品の除去～介助まで 施設の現場で、食物アレルギーと向き合っている栄養士、調理師にとって安全性の確保がもっとも大切なことです。食物表示の見方やチェックの方法など具体的な注意点等、声を聴くことができ、実践に即した内容を学ぶことができました。</p>  <p>第3回食育研修 2022年1月14日(木) 参加人数 87名 場所:たかつガーデン 8階 たかつ 講師:今津屋直子氏(関西学院大学 教授) 「食育計画を学ぶ」 *食育基本法の制定から「第3次・第4次食育推進基本計画」について、重点課題「食の循環や環境を意識した食育の推進」を理解し、子どもたちの姿に合わせた食育計画の立て方、評価、改善点について学びあう研修でした。グループワークを通して参加者同士で各施設の取り組みを検証し、それぞれの食育計画を実際に活かして活動できるよう見直す機会にすることができました。</p> <p>2021年度もコロナ禍が続き、対面研修や話合いの場が十分持てない状況でした。コロナ禍での食育をどのようにしていくか各施設試行錯誤の中で取り組んでいます。表情の見えないマスクの中での食育や保育教育の指導が乳幼児の発達にどのような影響を及ぼすのか？不安の中での生活から早く抜け出したいものです。楽しい食の場になりますように！</p>

第 3 次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	一般社団法人 大阪市私立幼稚園連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>設立： 1969年(昭和44年)11月22日</p> <p>会員数： 加盟園 131園 (令和3年4月)</p> <p>目的： 幼児教育の振興及び教職員の資質向上を図り、もって私立幼稚園・認定こども園の公共性を高め、幼児教育の質向上に寄与すること</p>
<p>取り組み内容</p> <p>令和3年度 実績</p>	<p>■大阪市から大阪市幼稚園等教員研修事業の委託を受け、その中に本年度は食育に関する講座を3講座企画し、下記の内容で実施した。</p> <p>1. [教育・保育理論研修] (*市内の全公私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)日時： 令和3年9月10日(金)15:30～17:00</p> <p>(2)方法： Zoomによるオンライン研修</p> <p>(3)テーマ: 「幼児期の食物アレルギーとエピペンを使った緊急時の対応」</p> <p>(4)講師： 亀田 誠 先生 (大阪はびきの医療センター小児科主任部長)</p> <p>(5)参加者数: 37名</p> <p>(6)研修内容</p> <p>①食物アレルギーとは ②食物アレルギーの臨床型と症状 ③診断と治療 ④生活管理指導表と園での対応 *エピペンの使った緊急時の対応の実習</p> <p>本年から講師を変更したが、小児科医としての臨床例をもとに、わかりやすく対応方法について学ぶことができた。</p> <p>2. [教育・保育理論研修] (*市内の全公私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)動画配信期間 令和3年10月25日～11月4日</p> <p>(2)方法： 動画視聴によるオンライン研修</p> <p>(3)テーマ: 「口腔からの健康教育」子どもの歯と体の健康を守るための生き方・食べ方 ～コロナと共に生きる知恵～</p> <p>(4)講師： 豊田 裕章 先生 (豊田歯科医院 院長)</p> <p>(5)参加者数: 65名</p> <p>(6)研修内容</p> <p>① 歯科医の立場から歯を守るという生活習慣について ② 体幹を形成するための方法や食育・飲料について</p> <p>子どもの健康や発達について歯科医の立場から見た食育の重要性を学ぶことができた。</p> <p>3. [テーマ別研修] (*市内の私立幼稚園・認定こども園対象)</p> <p>(1)動画配信期間 令和3年12月1日～12月10日</p> <p>(2)方法： 動画視聴によるオンライン研修</p> <p>(3)テーマ: 「幼児期の食事について」 ～愛ある思考が愛ある環境を育む～</p> <p>(4)講師： 中森 玲子 先生 ((株)イーアドバンス管理栄養士)</p> <p>(5)参加者数: 59名</p> <p>(6)研修内容</p> <p>① ウイルスに負けない体力づくり(免疫力をあげるには) ② 腸内環境を整える食事を取ることが大切 ③ 母親が悩む子どもの「食」事情 ④ 子どもの反応でわかる家庭の様子 ⑤ 先生が悩む子どもの「食」事情 ⑥ 食品添加物・食物アレルギー ⑦ 食事の意義・味覚の通り道・箸の持ち方・姿勢</p> <p>愛ある食環境が愛ある思考を育むことがよくわかり、保育者としての気づきや必要な知識・技能についても知る事ができた。</p>

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪市農業協同組合
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	設立 平成4年4月1日 職員数 250名 目的 農業者の発展と生産力増進や農業者の生活をまもるため。
取り組み内容 令和3年度 実績	<p>令和3年7月3日</p> <p>JA大阪市のホームページや広報誌・各支店のチラシにて、「親子で農業体験」の参加者を募集した。コロナ禍対策を講じた上で、人数を縮小し、午前中で終了するよう工夫をしながら開催した。</p> <p>7月は田植え体験とジャガイモ掘りに挑戦。田植え体験では泥水の中手植えするので、子供たちは泥だらけになり、職員が教えたとお楽しそうに取り組んだ。また、ジャガイモ掘りでは、子供同士でジャガイモの数を競ったり大きさを競ったりして、掘ったジャガイモを全部袋に詰めて持って帰った。</p>  <p>令和3年11月6日</p> <p>田植え体験をした親子が全員稲刈り体験に挑戦した。稲刈りは鎌を使い手刈りするため、使い方を十分に説明しケガのないよう注意しながらおこなった。刈り取った稲と残りの稲穂はコンバインで刈り取り、そこから乾燥機や籾摺り機・精米機の施設を見学し、白米になるまでの過程を真剣なまなざしで見ている。自分たちが刈り取った稲は、白米になるまで職員が作業し、各ご家庭に郵送で送った。また、稲刈りの後、サツマイモ掘りにも挑戦した。あまり大きい芋は入っていなかったが、子供たちは自分の方が大きいと言いながら楽しんでいました。</p> 

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	近畿百貨店協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>近畿百貨店協会は、日本百貨店協会の地区百貨店協会のひとつで、百貨店業の健全な発展を図り、国民生活の向上と経済発展に寄与することを目的として活動しています。近畿2府4県(+福井県)エリアを対象に、当協会の会員会社は10社、41店舗になり、そのうち在阪百貨店は5社、18店舗(大阪市内百貨店は5社、8店舗)となります。</p>
<p>取り組み内容</p> <p>令和3年度実績</p>	<p>一般社団法人日本百貨店協会との事業運営の一体化を基本に、地区百貨店会員店間の積極的な情報交換を図っております。</p> <p>日本百貨店協会では各種専門委員会を常設。食に関しては、食品委員会を中心に活動しております。</p> <p>■ 日本百貨店協会の食品委員会と連携し、当近畿百貨店協会の会員店で構成する品質管理専門部会において食品を含む百貨店販売商品の品質管理、表示をテーマに、専門家による講演会(ZOOM開催)を8月24日と11月30日に開催いたしました。</p> <p>また食品行政等に係る各種通知、連絡事項に関しては周知徹底を図るなど、情報の共有に努めました。</p> <p>■ 日本百貨店協会では、百貨店に来店されるお客様に「食の安全と安心」を提供するために、食品担当者の人材力強化を目的とする「百貨店食品安全アドバイザー検定資格制度」を設けています。(現在休講中、再開未定)</p> <p>この制度の対象者は、百貨店において食品を扱う売場に勤務する従業員、また百貨店取引先企業の方、その他食品アドバイザーをぜひ受けたいとの意欲のある方になります。</p>

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	大阪府飲食旅館生活衛生組合連合会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>大阪府下の飲食や旅館に関係する8の生活衛生同業組合から構成されており、構成団体間の緊密なる調整を図るとともに、各組合の目的達成に努め、もって社会の福祉に貢献し、併せて業界の福利増進に資することを目的としています。</p> <p>設立は昭和34年4月15日であり、事務所は原則として会長所属の生活衛生同業組合の事務所内に置いています。</p> <p>構成団体は以下のとおりです。</p> <p>【飲食生活衛生同業組合8団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府麺類食堂業生活衛生同業組合 ・大阪府鮓商生活衛生同業組合 ・大阪府中華料理業生活衛生同業組合 ・大阪府社交飲食業生活衛生同業組合 ・大阪府喫茶飲食生活衛生同業組合 ・大阪府旅館ホテル生活衛生同業組合 ・大阪府料理業生活衛生同業組合 ・大阪府飲食業生活衛生同業組合
取り組み内容 令和3年度 実績	<p>■大阪ヘルシー外食推進協議会(飲食に関連する団体・行政・栄養、健康に関連する団体及び企業からなる、官民一体となって外食における栄養成分表示をはじめ、ヘルシー外食を普及するために活動する会)の「ヘルシーテイクアウト2021」コンテストに参加しました。新型コロナウイルス感染拡大により、外食を控え、家庭等で食事をする機会が増えていることから、例年とは異なり、大阪府内の「うちのお店も健康づくり応援団の店」からテイクアウトやデリバリーができるランチメニューに絞ったコンテストを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次審査 令和3年11月26日までに応募のあった33全メニューについて、WEB投票を令和3年12月17日～令和4年1月10日の間で行いました。投票総数5,336名。 ・二次審査 令和4年1月12日、人気投票得票数順位も考慮し、33全メニューについて、(一社)大阪府調理師会理事長の尾崎滋氏を審査委員長とし、学識経験者・関係団体代表者の審査委員12名によって、ヘルシー度・料理写真・レシピによる評価(獨創性、技術、見栄えなど)を総合して入賞7メニューを決定しました。 <p>■大阪ヘルシー外食推進協議会の「ヘルシー外食フォーラム2021」に参加しました。</p> <p>日 時：令和4年1月26日(水)15:00～15:30</p> <p>会 場：「FOOD STYLE Kansai2022」インテックス大阪2号館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一部 「ヘルシーテイクアウト2021」コンテスト表彰式の予定でしたが、コロナ禍の為、表彰式は中止になりました。。代わりに、コンテストの経過報告、入賞店の紹介を行いました。 ・第二部 講演を行う予定でしたが、コロナ禍で中止になりました。

第3次大阪市食育推進計画の取り組み内容等

団体名	公益社団法人 大阪食品衛生協会
団体等の概要 (設立・会員数・目的等)	<p>飲食等に起因する中毒、感染症及びその他の危害の発生を防止するため、食品関係事業者に対する食品衛生管理の指導や消費者への食品衛生知識の向上を図るための普及啓発事業等を行っています。</p> <p>昭和 35 年 9 月 設立 昭和 53 年 11 月 社団法人認可 平成 25 年 4 月 公益社団法人認定 会員数:正会員 52 業種団体会員 28 特別会員 130 社 (令和 4 年 3 月末時点)</p>
取り組み内容 令和 3 年度 実績	<p>1 食の安全安心啓発ポスター・標語コンクール(7 月募集)</p> <p>応募数:ポスター 39 作品、標語 1,905 作品 表彰数:ポスター 5 作品、標語 5 作品 展示:令和 3 年 9 月 30 日～10 月 12 日 (阪急梅田駅構内) 令和 3 年 11 月 15 日～11 月 25 日 (八尾市庁舎1階ロビー)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>知事賞</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>大阪市長賞</p> </div> </div> <p>2 食中毒予防啓発活動</p> <p>街頭キャンペーンについては、例年 7 月～9 月、11 月に実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策により中止しました。</p> <p>なお、八尾支部においては、八尾市保健所と連携し令和 3 年 11 月 15 日から 10 日間、同市庁舎 1 階ロビーにて「食中毒予防キャンペーン」と題した展示コーナーを設置し、啓発リーフレット及びグッズを配布しました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>3 ノロウイルス予防対策強化事業</p> <p>令和 3 年 11 月 4 日と 15 日の両日に、事前に収録した動画を YouTube により限定配信しました。講師には、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所の左近直美主幹研究員を迎え、新型コロナウイルスに対してもノロウイルス対策が役に立つことや、手洗いの重要性についてスライドを交えながらお話いただきました。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>4 食品衛生フォーラム(食に関する講演会)</p> <p>令和 4 年 2 月 22 日から 3 月 31 日までの間、事前に収録した動画を YouTube により限定配信しました。講師には、NPO 法人カビ相談センターの副理事 久米田裕子氏を迎え、「食品のカビ汚染対策として、カビを知り、カビを制す」と題しお話いただきました。</p> <div style="text-align: center;">  </div>